

令和5年

(一社)全国LPガス協会 山田耕司会長 年頭所感

新年明けましておめでとうございます。

LPガス事業者会員の皆様におかれましては、ご家族揃って、また従業員様共に輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中に賜りました全L協運営へのご協力とご支援に心から厚く御礼申し上げます。

私は、昨年6月の総会で専務理事不在のまま会長に就任しました。

その後、皆様のご理解、ご支援をいただきながら、専務理事を選定いただき、新年から万全の体制で業務を推進できるものと思っております。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の拡大、減少が繰り返され、完全な収束に至りませんでした。我々LPガス販売業においても、経済社会状況の先行きの予測が難しい状況において、様々な対応を行って参りました。

政府は昨年秋に、ウクライナ情勢を受けた天然ガスの急騰や急速な円安によるエネルギー・食料品等の価格高騰の影響により厳しい状況にある生活者や事業者の方々を支援することなどを柱とした総合経済対策を策定し、電気・都市ガス料金の負担を直接的に軽減する企業・家庭向けの対策が含まれました。LPガスが地域の重要なエネルギーであることから、当協会としてもLPガス料金上昇抑制のための支援を要望し、その結果、LPガス業界へ配送合理化等構造改善に資する約150億円の補助金の創設と6,000億円の地方創生臨時交付金の対象にLPガスも含まれる措置がなされました。電気・都市ガスとは別の手法の負担軽減策が取られたところですが、今後、LPガス業界がさらに利用できるよう臨時創生交付金の拡充等をお願いしております。

また、近年自然災害が頻発する中、LPガスが国民の生活を守る最後の砦であるとの地位を確立するために、引き続き、国会議員及び関係省庁等関係方面へのロビー活動を行い、さらには、会員皆様のご尽力により、数多くの自治体等におけるLPガスGHPを採用する小中学校の増加等を着実なものにしていかなければなりません。

本年も、以下の諸活動を推進するとともに、脱炭素化の動きなど社会経済の変化に伴うLPガス販売業への影響について、国内経済、国策やその動向等を注視し、国民の新しい生活様式や今後発生しうる災害への対応策等に尽力してまいります。

まず、L Pガスがお客様から選ばれるエネルギーになるためには、何をすれば良いか、具体的には、取引の適正化と料金の透明化について、さらに進めていかななくてはならないと考えます。お客さまにきちんと説明のできるL Pガス料金体系にしていくことが重要と考えます。

賃貸借の集合住宅向けのL Pガス料金透明化については、それぞれの販売店が情報開示をどのような方法で進めるか、不動産業者と協力して推進していくことが重要と考えます。お客様にきちんと料金表を渡して説明する、そして納得してL Pガスを使っていただくことが大切です。

また、L Pガス事業者は、お客様の生活に溶け込む商売をしないといけないと考えます。地域密着をさらに進めるべきであります。

保安面では現在、2年目として取り組んでいる「L Pガス安心サポート推進運動」は、国、L Pガス事業者、お客様等が主体者となって安全目標の達成を目指す経済産業省の「液化石油ガス安全高度化計画2030」の目標及びアクションプラン等と一体的に展開していくものであり、重点取組事項として、業務用施設における警報器とメーターの連動遮断の推進及び業務用換気警報器の設置促進並びに軒先容器の流出防止対策の徹底を目指しております。

お客様に安全・安心にL Pガスをご使用いただくために、行政と連携しつつ保安の確保に全力で取り組みますので、さらなるご協力をお願いいたします。

需要拡大については、「需要開発推進運動」を業界一丸となり展開しておりますが、引き続き、エネファーム、GHP、エコジョーズ、ハイブリッド給湯器等のL Pガス高効率機器の販売強化、都道府県協会が実施する需要開発推進運動の支援等を推進します。

全国の公立小中学校の特別教室及び避難所となる体育館等にL PガスによるGHP空調の普及、公的避難所・医療施設・福祉施設等の防災拠点等に対して、L Pガスの常設・常用を推進します。

2050年カーボンニュートラル社会の実現については、化石燃料の中で相対的に環境特性に優れるL Pガスのグリーン化等、将来に向けたL Pガス安定利用に向けて、国の動向を踏まえながら元売り業界とも連携して対応を検討しております。今後、「CO2排出の見える化」の取り組みを拡大していく予定です。

CO2削減に有効な高効率の機器やハイブリッド給湯器等の販売を積極的に推進し、また、L Pガスの配送合理化を通じたCO2削減を目指してLPWAや残量監視システムを構築しなければいけないと考えます。一つひとつは小さな数字ですが、集まれば大きな数字となると思います。

全国のLPガススタンドのインフラ網を維持するための具体策として、災害時にも活躍する「LPガス自動車の普及促進」の一環として、自立型LPガススタンド認定制度をさらに充実させるほか、行政機関、輸送会社等に対して、災害時やエネルギーセキュリティー面からも保有車両の一定割合をLPガス自動車とするよう導入促進や主要ユーザーであるLPガスタクシー車両の減少を防ぐため関係方面への働きかけ等を引き続き行います。

その他、LPガススタンドの振興に必要な各種方策について、検討を行います。

最後に、本年は、LPガス販売業界の「自立元年」にしたいと強く思います。

我々は、襟を正すところは正して、本年をLPガス販売業界の新たな第一歩とし、新しい時代に合った商習慣を創造して参りたいと存じます。

私は、「継続は力なり」という言葉を大切にしております。今まで、そしてこれからこの言葉を胸に刻み行動していきたい所存です。

本年もLPガス事業者会員の皆様の一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。皆様のご健勝・ご多幸ならびに事業のご繁栄を祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。